

陸軍二六

明治二十九年三月二十七日

内閣總理大臣 

法制局長官 

外務大臣

望

大藏大臣

益

海軍大臣

坂

文部大臣

望

逓信大臣

力

内務大臣

区

陸軍大臣

司法大臣

区

農商務大臣

黒田



別紙陸軍大臣請議臨時陸軍運輸通信部官制制定、件ヲ審査スルニ大本營閉鎖後臺灣威海衛朝鮮等、駐在軍隊ニ係ル業務ヲ繼續スル爲メ此ノ機關ヲ要スト云フニ在リテ不得已儀ニ付

法制局

請議ノ通閣議決定相成可然ト認ム
追テ本件ニ關スル經費ハ既ニ議會ノ協賛ヲ
經タル臨時軍事費中ニ包含スルモノニ有之
候

勅令案

呈案附箋ノ通

附箋ノ廉ハ主務者一協議濟

陸軍部 第七一號 三月廿五日

大本營閉鎖後ニ於ケル臺灣威海衛朝鮮
等ニ駐在軍隊ニ關スル業務ヲ繼續スル為
特別機關ノ設置ヲ要スルニ依リ臨時陸軍
運輸通信部官制制定相成度勅令案
相添閣議ヲ請フ

明治廿九年三月廿五日

陸軍大臣侯爵大山 巖

内閣總理大臣臨時代理
樞密院議長伯爵黒田清隆殿

軍部

初令案

朕臨時陸軍運輸通信部官制ヲ裁可シ

茲之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十九年三月八日

陸軍大臣 内閣総理大臣 原敬

勅令第 六十九號

別紙臨時陸軍運輸通信部官制

臨時陸軍運輸通信部官制

第一條 臨時陸軍運輸通信部ハ陸軍大臣ノ監督ニ屬シ其臺灣及海外駐在部隊並ニ軍需品ノ運輸其他之ニ屬スル鐵道船舶輸送上ノ業務及軍事通信ノ事ヲ掌ル

第二條 臨時陸軍運輸通信本部ヲ東京ニ置キ其支部ヲ宇品、威海衛、基隆ニ置ク

但 陸軍大臣ハ必要ニ應ジ支部出張所ヲ適宜ノ場所ニ置クコトヲ得

部長

一人

事務官

專任 三人

書記

專任 四人

ヲ業務ヲ執ラシム其職負尤ノ如シ

軍 医 九人

看護 長又ハ看護手 八人

第十一條 患者輸送ノ為ノ宇呂支部ノ下ニ病院船ヲ置キ同所支部長

ノ指揮下ニ在テ業務ヲ執ラシム其職負尤ノ如シ

二等軍医正又ハ二等軍醫 二人

二三等軍医 八人

一 二三等藥劑官 二人

看護 長又ハ看護手 十二人

第十二條 各支部ハ定員ノ外ニ要ニ應ニ事務官書記及衛生部員ヲ増員スルコトヲ得

第十三條 衛生部士官以下及書記ニ雇員ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第十四條 本令ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

陸甲二四

明治廿九年三月廿一日 内閣書記官

内閣總理大臣 代布 内閣書記官長

工兵方面條例改正ノ件